

町議として地方自治に貢献
鹿中順一さんに北海道社会貢献賞

津別町議会議員として、永くまちづくりに尽力されてきた鹿中順一さん（現町議会議長）が、平成24年度北海道社会貢献賞（自治功労者）を受賞し、3月15日、町長室で伝達式が行われました。

平成元年に39歳で初当選して以来、6期24年間（現在7期目）にわたって町議を務めてきた鹿中さんは、「身に余る光栄です。これまでやってこられたのは、町民の皆さまや家族の支えがあったからこそ。若い人の力を行政に活かせる環境づくりに励むなど、今後も津別町のために少しでも貢献できればと思います」と、受賞の喜びを語りました。



青葉幼稚園児が町長室訪問
卒園式の招待状を持参

3月8日、青葉幼稚園の園児8人が町長室を訪れ、佐藤町長に卒園式の招待状を手渡しました。

可愛らしい来訪客は、「20日の卒園式にぜひ来てください」とお願いし、その後、町長とはしゃし懇談?。「仕事でがんばりたいこととはなんですか?」との園児からの質問に、町長は「町に元気が出てくること。みなさんが、これから小学校に入って、元気に育っていくことが一番です」と答えました。

園児たちは、最後に町長と握手をして、部屋を後にしました。



まちのわだい

食農教育応援事業
JAつべつから補助教材寄贈

3月14日、JAつべつ（山下邦昭代表理事組合長）から教育委員会に、小学校高学年向けの補助教材「農業とわたしたちのくらし」60冊が寄贈されました。

JAバンクが平成20年から実施している食農教育応援事業の一環で、子どもたちに食・環境等と農業のつながりを意識し、農業への理解をより深めてもらうことが目的です。贈られた教材は、町内3小学校で5年生の社会の授業に活用されます。

寄贈を受けた林伸行教育長は「毎年、ありがとうございます。有意義に使わせていただきます」と、お礼を述べました。



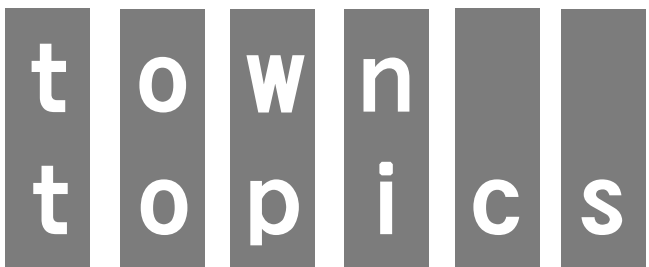
防災・防火に活躍
消防署に新しい広報車配置

2月27日、津別消防署に新しい広報車（トヨタ・ハイエース/乗車定員10名）が納車されました。

これまでの広報車の老朽化に伴い、平成24年度電源立地地域対策交付金交付事業により配置されたものです。



新しい広報車は、消防署の防災・防火に関する広報活動や、収容能力を活かして現場への人員輸送などに役立ちます。



楽しみながら科学を学ぶ
「科学の祭典」開催

2月24日、中央公民館で子どもたちが気軽に科学に触れられる催し「科学の祭典」（主催：津別町子ども会育成連絡協議会）が行われました。

会場には雪で作るアイスやベトボトルの空気砲、ゴム動力飛行機など、身近にある材料を利用した様々な遊びや実験道具が用意され、講師たちが分かりやすく指導。子どもたちは、興味津々の様子でそれぞれのブースを見て回り、楽しみながら科学を学んでいました。

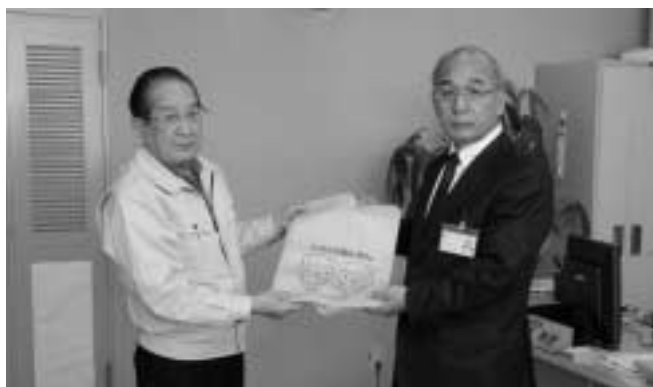


子どもたちの安全を願って
ランドセルカバーを寄贈

3月15日、津別町交通安全協会（柳瀬輝彦会長）から、ランドセルカバー35枚が教育委員会へ寄贈されました。

遠くからでもよく目立つ黄色のランドセルカバー（交通事故傷害保険付き）は、この春から小学校に通う児童の交通安全を願って贈られたもので、町内3校の新一年生全員に配布されます。

運転者の方も、子どもたちを守るため、安全運転を心がけましょう。



津別町 人づくり・まちづくり活動支援事業募集のお知らせ

平成25年度
1回目

町では、『津別町人づくり・まちづくり活動支援事業』として、産業、福祉、芸術文化、スポーツ、コミュニティ活動など様々な分野で地域の活性化を図ることを目的に、まちづくりのリーダーの育成及び町民の自主的なまちづくり活動を支援しています。

- | | |
|-------------|--|
| 募集期間 | 平成25年4月1日（月）～5月31日（金） |
| 人づくり活動支援事業 | 対象...町民が国内外で研修する事業
補助額...補助対象経費の1/2以内（限度額 国内8万円、国外20万円） |
| まちづくり活動支援事業 | 対象...町内の団体が既存の活動の拡充となる自主的なまちづくり活動を行う事業
補助額...補助対象経費の総額以内（限度額 100万円 下限額 5万円） |

事業の承認
申請者は、必要書類提出後、審査会において審査委員に事業概要等を説明していただきます（プレゼンテーション）
そこでの審査の結果、事業が採択されます。

申請及び問い合わせ先 住民企画課 住民企画グループ ☎76-2151（内線215）